MYOJO ELEMENTARY SCHOOL

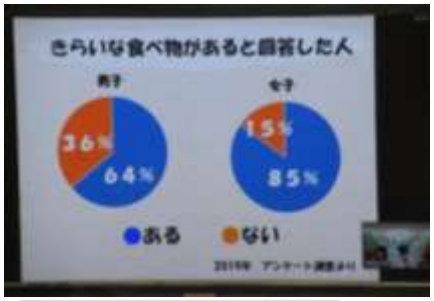
Myojo Family

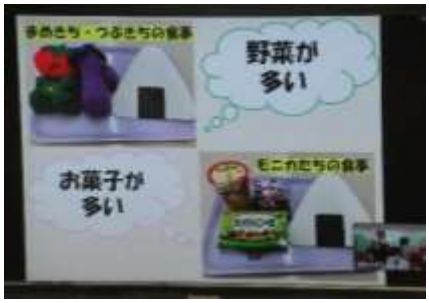
明星小学校 学校だより 12月16日 No,37 （文責:森日出夫）

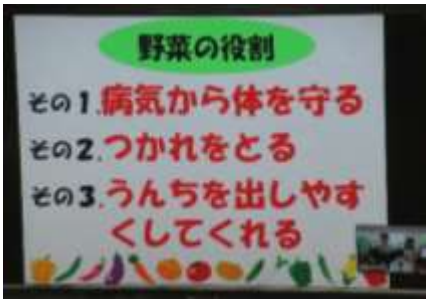
明星小学校&別府大学コラボ企画第２弾!!（５年生）12／11

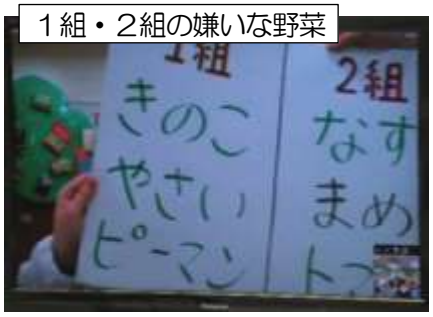
コロナに負けない身体づくりは食事から・・・

「苦手な野菜をなくそう！野菜と友だちになろう！」をテーマに、別府大学食物栄養学科の皆さんが５年生を対象に、リモートで食育の授業「あつまれやさいの森」をしてくださいました。やさいの森からは、モニカ、カックン、１ごうさんたちユニークなキャラクターの皆さんが楽しく授業をしてくれました。最後は、ほうれん草のパウンドケーキをお土産にいただきました。ほうれん草がとっても濃厚でしたね。









１組・２組の嫌いな野菜

学習に集中している５年生

【感想より抜粋】

◆５年生のために食育授業を開いてくださりありがとうございました。劇はおもしろく、声も大きくて聞き取りやすかったです。特にベジくんを使った説明はとても分かりやすく、覚えやすかったです。後半の授業では、私たちが疑問に思ったことをていねいに教えてくださったので、野菜の大切さがよく分かりました。今日学んだことをこれからの生活に活かそうと思います。本当にありがとうございました。

◆今日の勉強で野菜を食べることはとても大切だということが分かりました。例えば、病気から体を守ったり疲れを取りやすくしたりするということを初めて知りました。なので、これからは好き嫌いせずに野菜をしっかり食べて元気に過ごしたいと思いました。今日はありがとうございました。

「特別の教科 道徳」～自分自身を見つめ、心を磨き、自分らしさを輝かせる～

「特別の教科道徳」では、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標にしています。そのために、授業では、読み物教材の主人公の気持ちを理解するだけではなく、気持ちに共感したり、自分自身を重ねて考えたりするということを大切にしています。教材を通して自分を見つめ、決して一つではない様々な考え方や感じ方を大切にしながら、自分の生き方についての考えを深めています。例えば、子どもたちは、ウソをついたりごまかしをしたりしないで、正直にした方が良いということはよく分かっています。しかし、そうと分かっていても、実際はなかなかできないことがあるでしょう。それは、胸に手を当ててみると、大人も同じなのではないでしょうか。それが人間なのです。その“人間らしさ”を理解したうえで、どのようにしていけばよいのかということを様々な視点から教師や友だちとのやり取り、そして、自分自身を見つめることでより深く考えていきます。道徳科の授業は、目には見えない心をじっくりと見つめる時間です。その積み重ねが、子どもたち一人ひとりの心を磨き、自分らしさを輝かせるきっかけになるようにと願い、指導しています。

自分の考えを伝える１年生